

## 地域公共交通の確保



### 市長の政治姿勢について

**問** 財政計画の見通しは。

**答** 令和9年度以降、過疎債を活用できないため、公債費負担が増加する可能性がある。

**問** 県から病児・病後児保育利用者への補助が行われる予定であり、利用者の増加が見込まれるが、今後の対応は。

**答** 県の補助事業の推移を見て、事業者との協議を行う。

**問** マスク着用基準の見直しに対する市の考えは。

**答** マスク着用が効果的な場面と適切な利用について、理解を求めていく。

**問** 学生が実行委員として参加した「夢の花咲く青春祭」の感想は。

**答** 学生やシニア、企業・団体などの熱い想いの詰まったものとなった。

**再発言** 素晴らしい青春祭となった。令和5年度以降も継続して開催してほしい。

**問** 校区まちづくり協議会への加入率増加に向けた具体的な考えと方針は。

**答** 課題等の調査研究を基に取組を明確化し、他部局と連

携しながら、具体的施策に取り組みたい。

**問** スポーツ環境の整備充実に向けた本市の考えは。

**答** スポーツ推進計画に掲げる事業をソ

フト・ハード両面から実効性あるものとなるよう取り組む。

### 大牟田市排水対策基本計画について

**問** 計画の市民への説明は。

**答** 各地域で丁寧に行う。

**問** 計画の弱点箇所として抽出されていない地区の対応は。

**答** 年次計画で順次対応する。新たな対応が必要となった場合、実現性を総合評価し、追加対策を検討する。

### 地域公共交通について

**問** 市内の公共交通事業者の現状は。

**答** 令和3年度のアンケート結果や市内の移動量分析から、厳しい状況がうかがえる。

**問** 新たな交通手段の構築に向けた実証実験の内容は。

**答** 新大牟田駅と中心市街地を結ぶ実証実験において、乗降場所を増やし利用者増を図る。また、地域の声を聞き、生活交通の確保に取り組む。

**問** 福岡空港への高速バス再開についての要望はないか。

**答** 多くの声があるため、事業者と相談している。

**問** 福岡県交通ビジョンでは、本市、みやま市、柳川市の地域連携が示されているが、本市の地域連携への考えは。

**答** 3市と荒尾市、南関町を含む広域で、地域間移動に関する事業、情報交換や事業者への要望活動等の連携を図る。

**問** 令和5年度予算案で、路線バス運行補助が750万円増額されているが、内容は。

**答** 新たに吉野線の57番系統への補助を行う。

**再発言** 市内のにぎわい創出のため、バス停までの移動など総体的な移動方法の確保を検討してほしい。



**問** 利用者から不便との声があるJR九州のダイヤ改正に対し、近隣5市町で要望した際の事業者の回答や反応は。

**答** 公共交通ネットワークの維持は最大の責務だが、利用者がコロナ禍前の9割程度しか戻らないことが想定され、すぐに改正前に戻すことは困難であり、利用状況を分析し改善したいとの回答を受けた。引き続き要望活動を続けたい。

**再発言** JR銀水駅のトイレの改修など、利用しやすい、地域の核となる駅となることを地域は要望している。改修も含めて検討してほしい。